



日本医療機能評価機構
認定病院

やさしさとふれあい健康プラザ

すみれ

インフォメーション

一般財団法人 札幌同交会病院

秋号

2025.10

Vol.49

理 念

私たちは、人にやさしく、
思いやりのある温かい心で、
地域に根ざした信頼される病院を目指します

基本方針

- 一、患者様と医療者のパートナーシップを尊重し、皆様の健康と生命を守ります。
- 一、医療の安全を確立し、医療サービスに徹し、皆様に安心と満足をお届けします。
- 一、職員はたゆまぬ研鑽を重ね、研修・技術の向上、医療水準の向上に努めます。
- 一、経営健全化のため効率的運営をはかります。
- 一、地域の医療機関、施設との連携を強化し、地域完結型の医療を目指します。
- 一、高齢者と障害者に配慮した医療を実践します。

【写真提供】

札幌同交会病院 評議員／日本光画会 会員

伊藤 忠 様

S U M I R E I N F O R M A T I O N

厳しい医療情勢の中で 生き残るためには

顧問・病院運営部長 田村 優



今、病院を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。全国的な問題としては、慢性的な医療従事者不足、急激な物価高騰に伴う費用増加による経営圧迫、職員の働き方改革、医療DX問題などが叫ばれておりますが、当院も同様に大変厳しい状況におかれております。おそらくは、どの病院におかれても当院と同様に日々悪戦苦闘していることと思います。

医療機関は、診療報酬により、病院が行っている医療行為の対価として収益を獲得しておりますが、この診療報酬は全国どこでも同じであり、2年毎に改定されております。この収益により、人件費や物品購入など病院として発生する全ての費用を賄っております。決められた収益構造の中で、いかに費用を抑えながら、運営していくのが各病院が頭を悩ませている問題ではないかと思います。

先にも述べましたが、最近の医療情勢においては、物価高騰による費用増や医療DX対応による整備費用の増大など病院での努力だけではどうにもならないところまで来ているのかなと思っております。もちろん、国も補助金などで対応することで動いてはいますが、現状に追いつけていないと言ったところだと思います。

来年度は、診療報酬改定年度であり、各病院も収益増に向けて大きな期待をしているのではないかと思います。改定率のアップは患者様の負担増にも直結することでもあり、病院の収益増と患者様の負担増の狭間の中でもどかしい思いをされているのではないかと推察します。さりとて、ネガティブなことばかり言っても、何も変わらないのも事実です。診療報酬がアップとなっても、患者様に納得できる医療をいかに提供できるかが病院にとって今まで以上に重要になってくるものと思います。医療の質の向上による患者サービスの向上であったり、最新の医療機器の整備であったり、建物整備の更新であったり、病院によって取り組むべき事項は異なると思いますが、改めて当院もしっかり前を向いて頑張っていく必要があると思っております。

患者様により良い医療を提供するためには何をすべきかを第一に考え、これからも地域の医療機関の皆様や患者様から愛される病院を目指して頑張っていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

医局の よもやま話

ミシガン滞在記〈第3回〉令和7年秋

診療部長 菅野 伸一

アメリカ ミシガンの住宅事情

皆様、海外での居住を想像・計画したことはございますか？憧れの地を思い浮かべれば、気候や風景、自然、ショッピングや観光といった楽しみが頭に浮かぶでしょう。しかし、実際に“住む”となると、最も重要なのは治安です。私の妻が留学先を治安が最悪と噂のデトロイトに決めてきたあとき、私の目標は「日本に生きて帰る」に決まりました。

ニュースで映るアメリカといえば首都ワシントンD.C.、東海岸のニューヨーク・マンハッタン、西海岸のロサンゼルス・ドジャースタジアムなどですが、そんな大都市のど真ん中に日本人はほとんど居住していません。大都市中心部は確かに煌びやかですが、実は治安が悪いのです。海外では治安をお金で買うという感覚が一般的であり、大都市の中心部で治安まで求めると一気に家賃が跳ね上がります。デトロイトは大都市ではないですが、それでも市内で治安が良い地区に住もうとすれば、月50万円程度の住宅費になったことでしょう。そのため仕事や研究でアメリカに住む日本人のほとんどは、大都市の郊外や隣の町に住み、毎日車で通勤するのが普通です。ニューヨーク、ワシントンD.C.、シカゴのように公共交通機関が発達している都市では、電車通勤も可能でしょうが、それは少数派と言えます。

我が家を選んだのは、デトロイト市の西隣のリボニアの、さらに西隣の小さな町ノースビルです。デトロイト中心部から40km程度、車で30～40分（アメリカの高速道路の制限速度は115km/hくらい）離れており、人口は少なく、かわいらしい街並みで、自然にあふれ、治安もよく、物価も高すぎません。一つ北にノバイという日本人に人気の街（Motor City Comic Conというコミケも催される）が隣接しており、アメリカ初心者の我が家にとってまさにベストポジションでした。

もっとも、ノースビルはのどかな町でありながら、近年は移民が急増しています。その背景には教育制度があります。アメリカでは高校まで義務教育で、

公立校は地域ごとに入学が決まります。ノースビル高校はミシガン州でもトップクラスの評価を得る学校となったため、子どもの教育のために移り住む家族が増えているのです。彼らにとって、アメリカは子どもの将来を考えてやってくる国なのだと肌で感じました。

さて、実際に入居となると大家さん（一般的に英語しか話さないアメリカ人）との契約の壁が立ちます。皆様、サインや印鑑を押す前に細かな文字が数ページに及ぶ契約書の内容をご一読されておりますでしょうか。「契約する前に契約書をしっかり読むべき」…と言うのは簡単です。日本語であったとしても契約書の中身はほとんど読んでいないし、読んでもその独特の言い回しのために「結局どういこと？」となります。それを英語で理解する…これには卓越した英語能力がなければ非常に困難なことをご想像いただけるでしょうか。さらに、住宅火災保険も、車の保険も、電気やガス、水道の契約も、当然すべて英語。グーグル翻訳様に頑張っていたいても、その翻訳結果が正しいかどうか判断できません。



▶タウンハウスタイプの集合住宅

そんな絶望的な状況でも救いがありました。ご存じのようにデトロイトは車産業が盛んであり、全米で3番目の日本人密集地帯です。そのため大変ありがたいことに、日本人が経営している住宅生活サービス会社が存在するのです。その会社がなければ、私たち家族が入居できるのは一年後だったかもしれません。日本からアメリカに行って独力で生活を立ち上げた先輩の皆様を、心から尊敬しております。

その会社を通じて紹介された物件はいくつかあり、その中には憧れの一軒家もありましたが、私たちはタウンハウスという集合住宅型を選択しました。その利点は一軒家と比べて、雪かきや庭の手入れ、外壁の掃除などを大家が手配してくれ、設備の不具合も管理人が対応してくれるからです。部屋の間取りはガレージ付きで、半地下の部屋、ダイニングキッチンとリビング、二階に二部屋、トイレは三つにシャワーは二つ。家族が初めて階段のある住まいに喜んでいた姿も忘れられません。トイレ掃除は確かに大変でしたが、五人家族には「出てくるのを待たなくていい」という大きな利点になりました。特にアメリカのトイレは詰まりやすく、時に数時間格闘することもありましたから、複数あるのは本当に助かりました。



▶奥側が我が家



▶玄関側

暮らしてみると、日本では考えられないトラブルも次々に襲ってきます。頻発する停電、半地下の浸水、ボイラーの故障、シャワー室からの水漏れ。蜘蛛の巣や虫の大発生、水回りのカビ、そしてすぐに詰まるトイレ。退去時には高額なカーペット清掃費を避けるため、自分でクリーナーを借りて奮闘しました。ガレージ前で育てていたトマトがいつの間にかゴミと一緒に処分されてしまったこともありました。

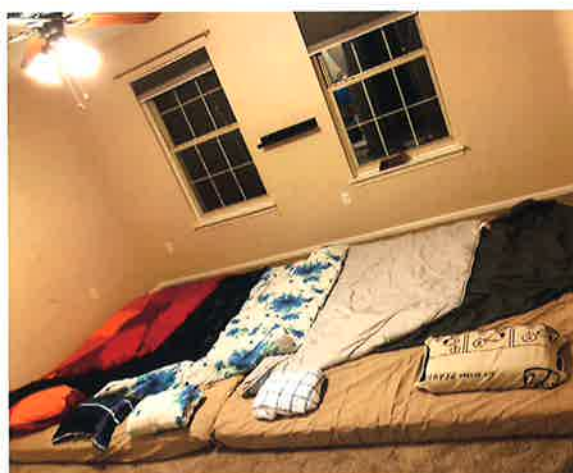
こうして並べるとトラブルばかりのようですが、それらも含めて今となっては懐かしい思い出です。安全な町を選び、言葉や文化の壁にぶつかりながらも家族や友人と助け合って暮らした日々。それこそが、アメリカ・ミシガンでのかけがえのない経験だったと感じています。



▶ガレージ側(玄関の反対側。見えている窓はお隣さん)と2年間12万km頑張ってくれた愛車のトヨタRAV4(ナンバープレートは後方のみでOK)



▶ダイニングと奥に見えるのがリビング



▶2階の寝室。アメリカだけどキングサイズのマットレス2枚敷いて家族5人で雑魚寝

骨密度検査を 受けてみませんか？

骨密度とは、骨の強度を示す指標です。骨に含まれるミネラルの量を測定し、骨の硬さや丈夫さを評価します。骨密度が高いほど骨は丈夫で骨折のリスクが低くなりますが、低下すると骨粗しょう症の診断や治療が必要になることがあります。

●骨粗しょう症とは

骨粗しょう症は、骨量が減ったり骨の質が低下したりすることで骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。日本では1,000万人以上が罹患しているとされ、特に女性に多く、高齢化に伴い増加傾向にあります。

骨粗しょう症による骨折は、

- 背骨（脊椎圧迫骨折）
- 太ももの付け根（大腿骨頸部骨折）
- 手首（橈骨遠位端骨折）
- 上腕の付け根（上腕骨近位端骨折）

などに多く見られます。これらの骨折は再発リスクが高く、寝たきりや認知症の引き金となり、生活の質を大きく低下させる恐れがあります。

●骨密度の基準

骨密度の結果は「若年成人平均値（20～44歳の健康な人の平均）」を100%とした割合で示されます

- 80%以上…………… 正常範囲
- 70～80%未満……… 骨量減少（注意が必要）
- 70%未満…………… 骨粗しょう症の可能性

特に女性は40歳を過ぎたら、定期的に骨密度を測定することが推奨されています。

●当院での検査方法

当院では、最も信頼性の高い**DXA（デキサ）法**による骨密度検査を行っています。2種類のX線を用いて精密に測定する方法で、短時間（約15秒）で終了します。痛みはなく、検査後すぐに結果をプリントアウトしてお渡しできます。

●定期的な検査のすすめ

骨粗しょう症は初期には自覚症状がほとんどありません。そのため、定期的に骨密度検査を受けることで「早期発見・早期治療」につながり、骨折予防や生活習慣の改善にも役立ちます。この機会に、一度ご自身の骨の状態をチェックしてみませんか？

▶B-Cube測定



▶B-Cube測定（腕拡大）

外来診療のご案内

医師外来診療スケジュール

【一般内科外来】

診療時間 午前9:00～12:00 午後13:30～17:00 土曜9:00～12:00

		月	火	水	木	金	土		
午前	1診	伊志嶺	菅野	関谷	菅野	菅野	1週目	菅野	淡川
	2診	淡川	専門医	淡川	関谷	関谷	2週目	伊志嶺	淡川
	3診	竹中	伊志嶺	竹中	専門医 (1・3・5週)		3週目	菅野	淡川
							4週目	伊志嶺	淡川
							5週目	※菅野・伊志嶺	淡川
午後	1診	菅野				専門医	土曜午後は休診		
	2診		竹中	伊志嶺	淡川	淡川			

※火曜日 午前・木曜 午前(9:00～12:00)は、北海道医療センター 循環器内科の専門医が診察いたします。

【専門外来】

専門外来	診療日	診療時間	備考
リウマチ専門外来	金曜日	13:30～15:30	札幌医科大学附属病院 免疫・リウマチ内科の専門医が診察致します。

月～金	午前	受付時間	8:45～17:00	診療時間	9:00～12:00
	午後				13:30～17:00
土	午前		8:45～12:00		9:00～12:00



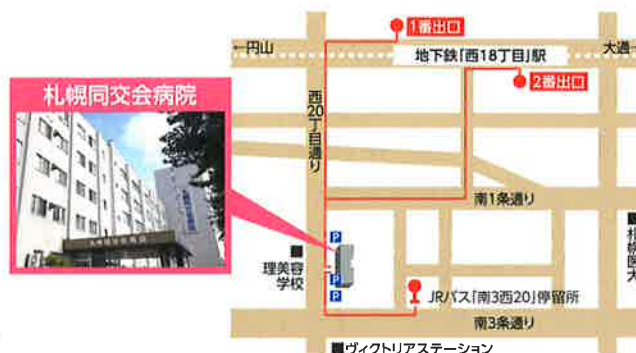
〒060-0062 札幌市中央区南2条西19丁目
電話 011-611-9131(代)



診療科目

内科・消化器内科・循環器内科

リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科



【公共交通機関のご案内】

- 地下鉄 東西線「西18丁目」駅1番・2番出口徒歩5分
- JRバス 【西53】啓明線「南3条西20」停留所徒歩2分

<http://www.dohkohkai.or.jp/>

札幌同交会病院

検索